

日本学術会議地球惑星科学委員会 SCOR 分科会 IIOE-2 小委員会(第 26 期・第 2 回)
議事要旨

開催日時：令和 7 年 5 月 23 日（金）13：00-15：00

開催形式：zoom によるオンライン会議

出席者：植木巖、沖野郷子、小畑元、齊藤宏明、末松環、東塚知己、西岡純、升本順夫、
村田昌彦、山形俊男（計 10 名）

議事等

1. はじめに

升本委員長より、議事次第の確認があった。

2. 議題

2.1. 国際的な IIOE-2 の状況

升本委員長より現在の IIOE-2 の状況に関して、令和 7 年 5 月 5 日から 9 日にかけてモーリシャスのポートルイスにて開催された第 8 回 IIOE-2 運営会議を中心とした紹介が行われた。また、日本からのナショナルレポートで示した内容の確認、IIOE-2 の 2030 年までの延長に向けた準備状況に関する情報共有、2024 年に実施した白鳳丸航海に対する IIOE-2 からのエンドースメントの申請に関する確認等を行った。

その後、各委員より、各分野における最近の観測や研究活動の動向として、最近行われた IMBeR/Future Earth の会合でのインド洋研究に関する議論や IIOE-2 における固体地球研究関係の進捗状況などの情報共有がなされた。

2.2. SIBER への委員推薦について

IIOE-2 とも密接に関係する SIBER の現委員である本多氏（本小委員会の委員も兼任）が SIBER の委員を退任予定であり、SIBER 運営委員会にて後任委員の選出が議論されている。これに関して、インド洋研究推進に対する継続的な日本の貢献が不可欠であるとして、日本の IIOE-2 国内委員会からの後任候補の推薦について協力依頼があった。本多委員から当委員会の委員でもある小畑氏の推薦があり、議論の結果、当小委員会から小畑委員を推薦することとした。

2.3. 今後の予定

IIOE-2 に深く関連する今後の科学会合として、令和 7 年 5 月 25 日から 30 日に国内で開催される JpGU2025 および 7 月 20 日から 25 日に韓国の釜山で開催される BAC02025 においてインド洋研究に関するセッションが企画されている。また、IIOE-2 の主要な国際科学会合として、令和 7 年 12 月 1 日から 5 日にかけてインドのハイデラバードにて IIOESC2025 が開催予定であり、日本からの多くの参加が望まれる。

2.4. その他

ユネスコ政府間海洋学委員会（IOC）の活動に関連して、インド洋中央部を対象とする地域委員会として設立された IOCINDIO の現状に関する情報共有を行った。また、インド洋の観測システムの状況や GO-SHIP 等の過去のインド洋における観測データのアーカイブについて、米国海洋大気庁（NOAA）の状況を含めた情報共有を行った。

さらにインド洋研究の将来に向けた取り組みとして、若手研究者の効果的な取り込みの推進に関する議論を行った。若手研究者の間で関連研究者間のオンライン会議等が積極的に行われている例もあり、そうした場への働きかけも重要との意見交換がなされた。

配付資料

- (1) IIOE-2 SC-7Report
- (2) IIOS2025 Provisional Agenda
- (3) Revised Implementation Strategy for IIOE-2 2015-2030 (Draft)
- (4) National Committee Report: Japan
- (5) Endorsement Form for KH-24-3
- (6) SIBER への委員推薦について

以上